

平成27年3月期 第2四半期決算説明会

平成26年11月12日



ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

- 1.第2四半期(累計)業績の総括
- 2.第2四半期(累計)の概況
- 3.計測・計量機器事業 実績-1
- 4.計測・計量機器事業 実績-2
- 5.DSP事業の業績
- 6.医療・健康機器事業 実績-1
- 7.医療・健康機器事業 実績-2
- 8.財務分析(貸借対照表)①
- 9.財務分析(貸借対照表)②
- 10.設備投資・減価償却費の推移
- 11.27年3月期通期見通し
- 12.計測・計量機器事業 見通し-1
- 13.計測・計量機器事業 見通し-2
- 14.医療・健康機器事業 見通し-1
- 15.医療・健康機器事業 見通し-2
- 16.金属検出機 AD-4971
- 17.バッテリーおよびモータHILS(DSP)
- 18.大型試験機試作工場の新築
- 19.新製品:業務用自動血圧計 TM-2657
- 20.補足資料

第2四半期(累計)業績の総括

- 計測・計量機器事業はDSP事業を中心に受注は堅調ながら、医療・健康機器事業が伸び悩み、全体としては売上が予想に届かず。
- 販管費は圧縮に努めたものの、売上増を超える伸びで増収減益。

第2四半期(累計)の概況

(単位：百万円)

連結損益	26/3期 2Q累計	27/3期 2Q累計	前期比 増加率	2 Q 累計予想	予想比	コメント
売上高	16,696	17,309	+3.7%	17,800	-2.8%	医療・健康機器事業が伸び悩み、目標に届かず
売上原価	9,181	9,403	+2.4%	9,660	-2.7%	
販売費及び 一般管理費	7,705	8,141	+5.7%	8,240	-1.2%	
営業利益	-190	-236	—	-100	—	
経常利益	-354	-416	—	-250	—	
税引き前 利益	-357	-417	—	-250	—	
当期 純利益	-387	-430	—	-280	—	
1株当たり 利益(円)	-18.09	-20.13	—	-13.10	—	

(注) 1. 2Q累計予想は、5月9日付の「平成26年3月期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

2. 小数点以下(百万円未満)は四捨五入で表記しています(以下同じ)。

計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		26/3期 2Q累計	27/3期 (実績)	前年 同期比	2Q 累計予想	予 想 比
計測・計量 機器事業	売 上	9,663	10,402	+7.6%	10,400	+0.0%
	売 上 原 価	5,623	5,819	+3.5%	6,000	-3.0%
	販 管 費	4,122	4,496	+9.1%	4,420	+1.7%
	営 業 利 益	-82	87	—	-20	—

1. DSP機器、計量機器を中心に堅調に推移。

⇒売上は前期比では7.6%増

2. 売上の増加に伴い営業利益が黒字化

⇒営業利益が前期比で169百万円の増加

計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	26/3期 2 Q累計	27/3期 2 Q累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予想比
計 測 機 器	1,635	1,542	-5.7%	1,470	+4.9%
計 量 機 器	5,906	6,162	+4.3%	6,450	-4.5%
計測・制御・シミュレ ーションシステム (DSP)	1,832	2,398	+30.9%	2,070	+15.9%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	290	300	+3.4%	410	-26.8%
売 上 合 計	9,663	10,402	+7.6%	10,400	+0.0%

計測機器

：引張・物性試験機、排気ガス分析器等を中心に堅調に推移。

計量機器

：ウェイトチェツカ等の新事業が売上増に寄与したが、消費増税の反動の影響もあり目標未達。

DSP

：自動車・タイヤ関連設備が好調で売上が大幅増。

電子ビーム関連ユニット

：半導体向け設備投資が停滞気味で売上は足踏み。

DSP事業の業績

(単位：百万円)

	用途種別	25/3期 (実績)		26/3期 (実績)		27/3期 (実績)
		上期	下期	上期	下期	上期
新規事業	自動車・タイヤ関連	1,443	2,919	1,586	2,335	2,127
	試験機関連	38	37	45	71	34
	その他	191	275	201	315	237
	小計	1,672	3,230	1,832	2,721	2,398
既存事業への DSP技術応用	特殊試験機関連	26	116	91	277	86
	計量制御関連	92	76	46	166	163
	医療機器	13	61	9	10	2
	小計	131	253	146	453	251
合計		1,803	3,483	1,978	3,174	2,650
売上合計 (通期)		5,287		5,153		2,650

昨年引き続き、自動車・タイヤ関連の各種試験装置を中心に売上が大きく伸長。

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		26/3期 2Q累計	27/3期 2Q累計	前年 同期比	2Q 累計予想	予 想 比
医療・健康 機器事業	売 上	7,032	6,907	-1.8%	7,400	-6.7%
	売 上 原 価	3,388	3,353	-1.0%	3,660	-8.4%
	販 管 費	2,950	3,027	+2.6%	3,150	-3.9%
	営 業 利 益	694	526	-24.2%	590	-10.8%

1. 医療機器・健康機器ともに伸び悩み。

⇒消費増税の反動もあり、売上高は前期比1.8%減少

2. 売上減少に伴い、営業利益も減少。

⇒営業利益は前期比24.2%減少

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	26/3期 2Q累計	27/3期 2Q累計	前期比	2Q 累計予想	予想比
医療機器	1,253	1,207	-3.7%	1,530	-21.1%
健康機器	5,779	5,700	-1.4%	5,870	-2.9%
売上合計	7,032	6,907	-1.8%	7,400	-6.7%

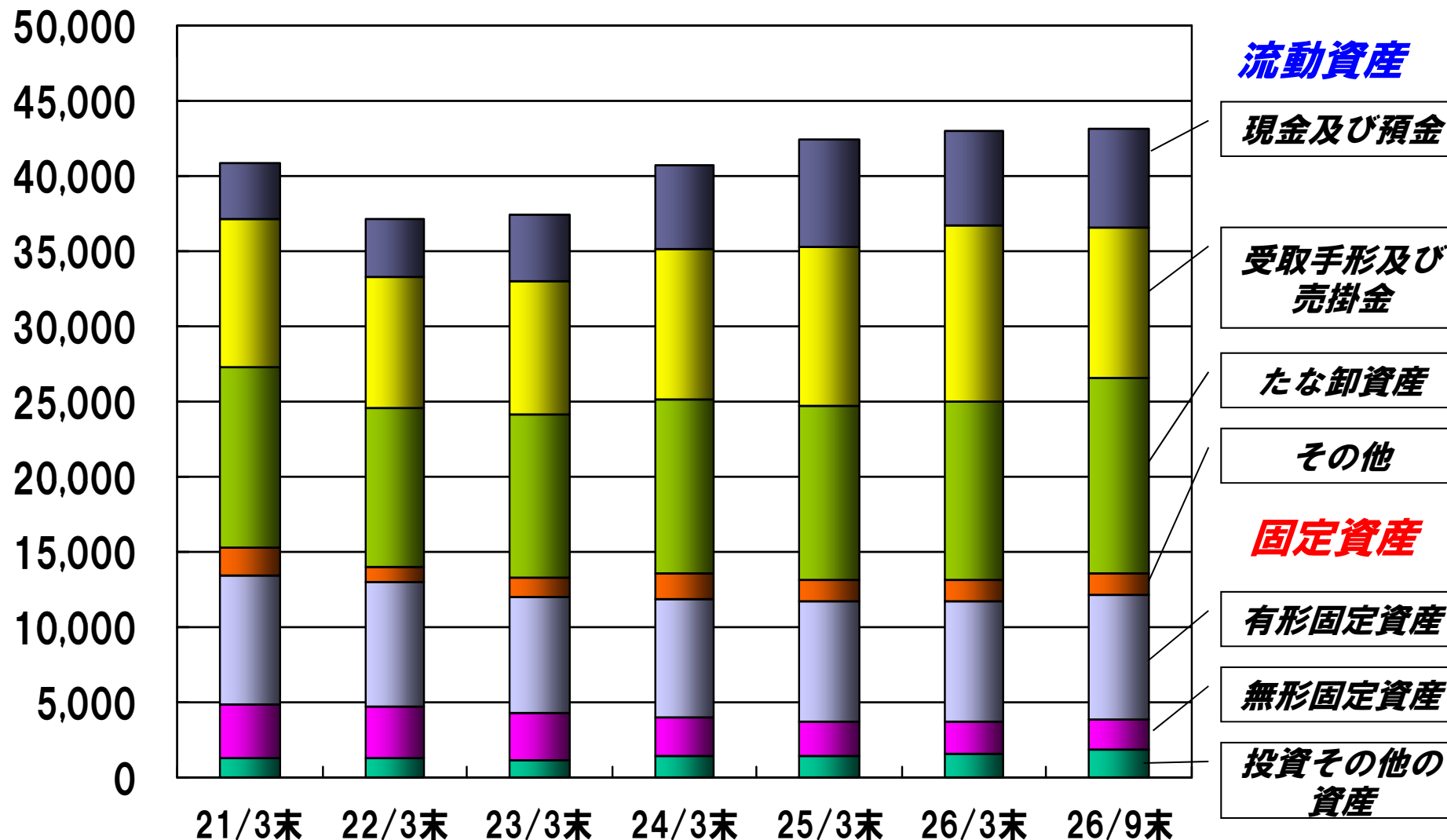
医療機器：消費増税の反動により苦戦したが、第2四半期にはやや持ち直した。

健康機器：海外は堅調に推移したものの、国内がテレビ通販の終了などにより、やや不調。

財務分析（貸借対照表）

貸借対照表分析 資産の部

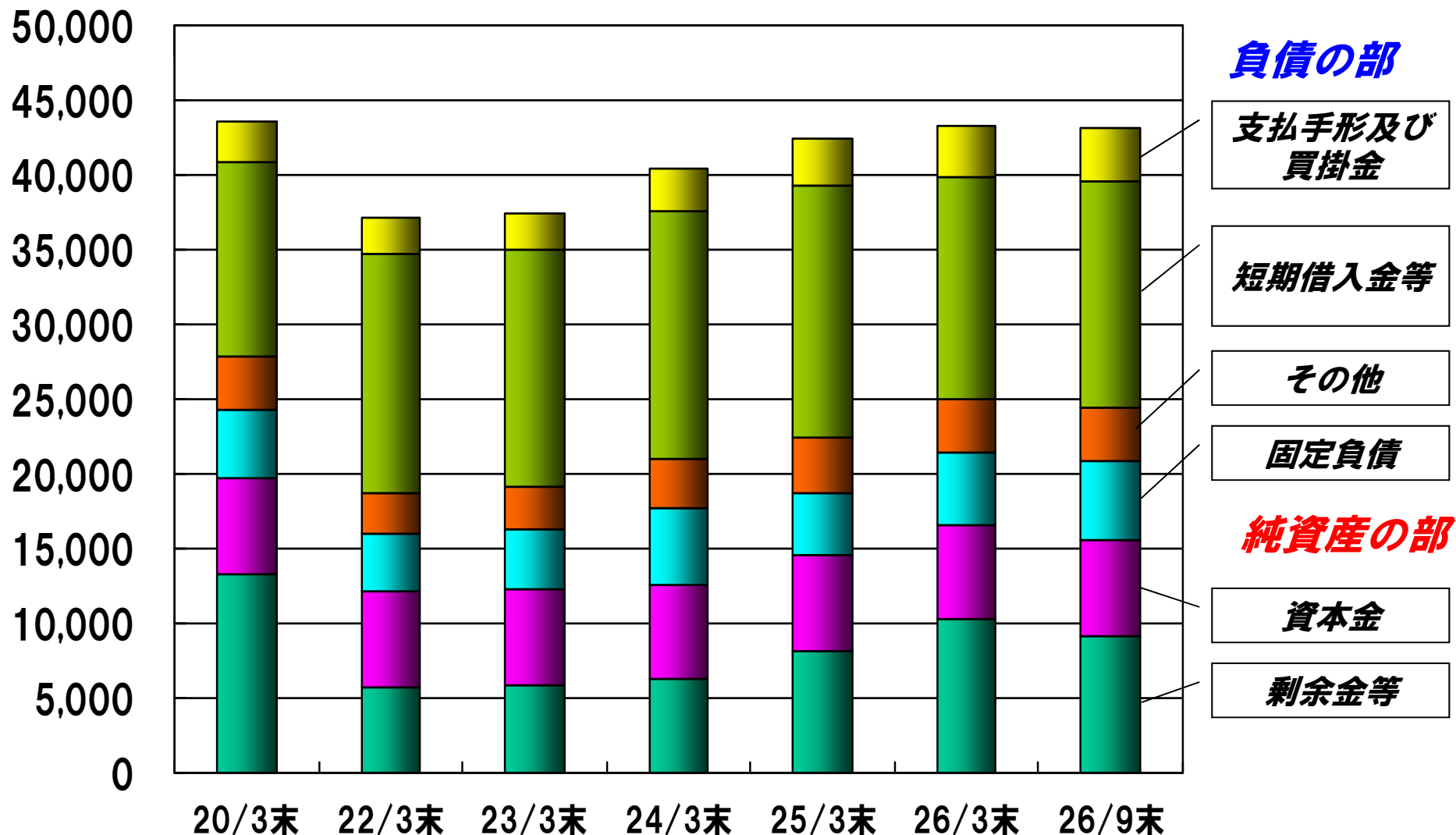
(単位：百万円)



財務分析（貸借対照表）

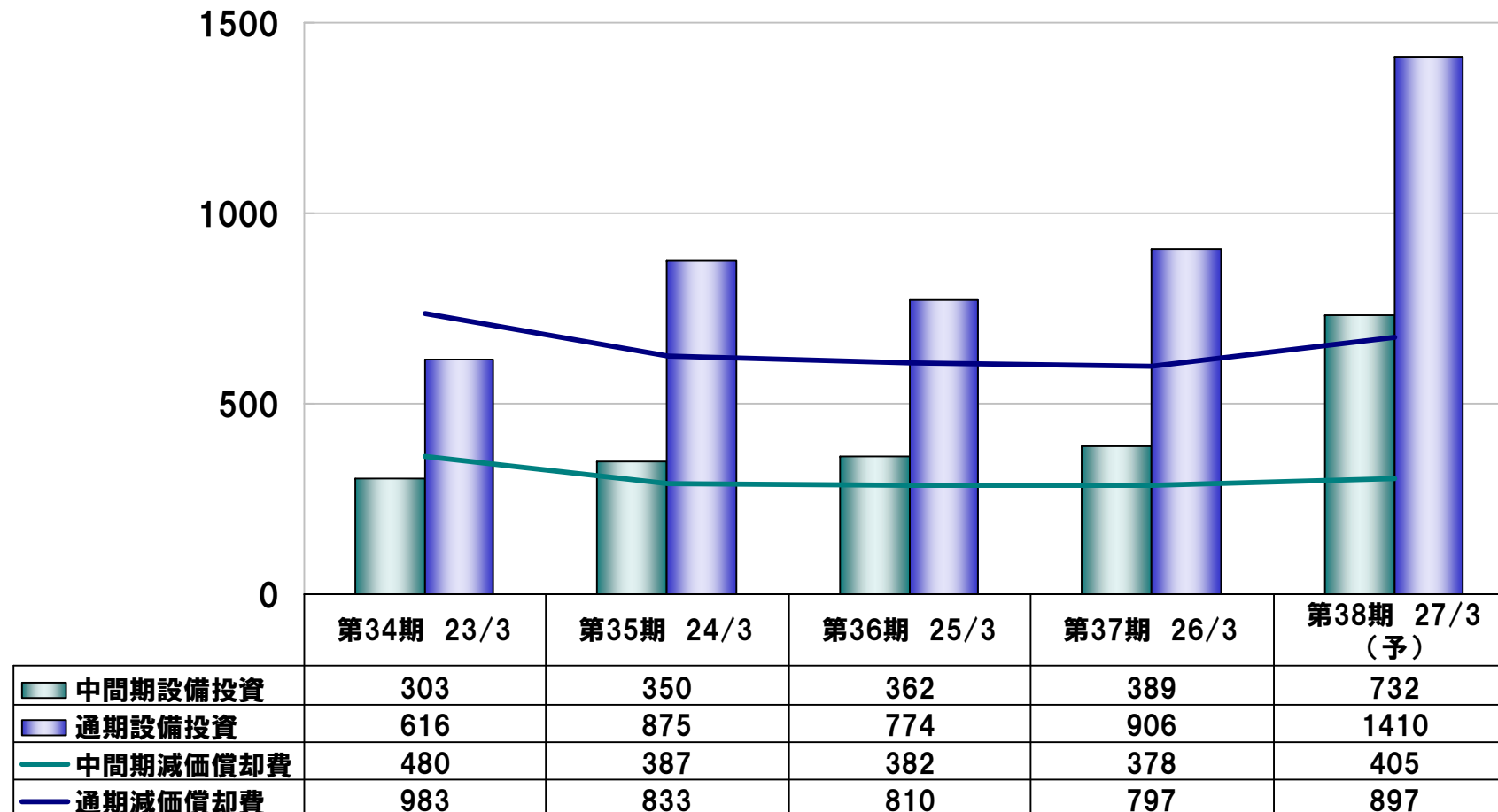
貸借対照表分析 負債・純資産の部

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)



今期の設備投資は大型試験機組立工場の新築および新工場隣接地の取得により大幅増。

27年3月期通期見通し



(単位：百万円)

連結損益	26/3期 (実績)	27/3期		27/3期 (通期予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売上高	37,824	17,309	23,891	41,200	+8.9%
売上原価	20,422	9,403	13,227	22,630	+10.8%
販売費及び 一般管理費	15,962	8,141	8,429	16,570	+3.8%
営業利益	1,440	-236	2,236	2,000	+38.9%
経常利益	1,023	-416	2,116	1,700	+66.1%
税引き前 利益	1,004	-417	2,117	1,700	+69.3%
当期純利益	1,212	-430	1,430	1,000	-17.5%
1株当たり 利益(円)	56.72	-20.13	66.93	46.80	-17.5%

(注) 1. 27年3月期予想は、5月9日付の「平成26年3月期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

2. 為替レート変動による利益への影響は軽微であります。

想定為替レート：1ドル=100円、1ユーロ=135円、1ルーブル=2.85円

計測・計量機器事業 見通し-1

(単位：百万円)

セグメント		26/3期 (実績)	27/3期		27/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
計測・計量 機器事業	売上	21,755	10,402	14,448	24,850	+14.2%
	売上原価	12,333	5,819	8,441	14,260	+15.6%
	販管費	8,475	4,496	4,344	8,840	+4.3%
	営業利益	947	87	1,663	1,750	+84.7%

1. 売上

受注が好調なDSP機器・計量器を中心に、前期比14.2%の増加を見込む

2. 営業利益

販管費の予算管理の強化により営業利益の拡大を図る

計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	26/3期 (実績)	27/3期		27/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
計測機器	3,834	1,542	2,718	4,260	+11.1%
計量機器	12,502	6,162	7,558	13,720	+9.7%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	4,553	2,398	3,872	6,270	+37.7%
電子ビーム関連ユニット	866	300	300	600	-30.7%
売上合計	21,755	10,402	14,448	24,850	+14.2%

計測機器：

- ・引張・物性試験機および排気ガス分析器を中心に拡販

計量機器：

- ・他社との差別化が可能な金属検出機の拡販（アルミ包装内の検査、酸化防止剤入り容器の検査など）
- ・米国の大型ドラッグストアチェーンからの電子天秤の大量受注獲得により売上増加見込み

DSP：

- ・受注が好調な自動車・タイヤ関連を中心に拡販を推進

電子ビーム関連ユニット：

- ・電子ビーム等を利用した応用市場の開拓

医療・健康機器事業 見通し-1



(単位：百万円)

セグメント	26/3期 (実績)	27/3期		27/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医療・健康 機器事業	売上	16,069	9,443	16,350	+1.8%
	売上原価	8,002	5,017	8,370	+4.6%
	販管費	6,100	3,363	6,390	+4.8%
	営業利益	1,967	1,064	1,590	-19.2%

1. 売上

消費増税の反動による売上減など市場環境は厳しいが、新製品の投入、新興市場の開拓等により、売上は前期並みを見込む

2. 営業利益

人民元高および中国工場の人件費の増加による原価上昇および海外販売会社の販促費等の販管費が上昇

⇒営業利益は前期比△19.2%の減益予想

医療・健康機器事業 見通し-2

(単位：百万円)

製 品 種 別	26/3期 (実績)	27/3期		27/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医 療 機 器	2,760	1,207	1,653	2,860	+3.6%
健 康 機 器	13,309	5,700	7,790	13,490	+1.4%
売 上 合 計	16,069	6,907	9,443	16,350	+1.8%

医療機器：・好調なメディカル計量器のシェア拡大効果を医療機器全体の販売促進に活かす

健康機器：・新製品投入および新興国市場の開拓促進

- ・IT技術活用により、在宅医療および医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸張を図る

トピックス1～金属検出機 AD-4971

- 食品・医薬品・衣料品・化学原料の製造・加工工程における異物の検出・除去は、PL法やHACCPの普及から極めて重要なテーマになっています。
- AD-4971シリーズは、異物の中で人体への危険性が高い金属異物を検出・排除できる産業用ベルトコンベアタイプ電磁式同軸型の金属検出機です。
- 今後はアルミ包装内の金属検査（製品化済）や、酸化防止剤入り容器の検査が可能な検出機を市場投入し、他社との差別化を図ってまいります。



EV（電気自動車）やHEV（ハイブリッド車）のバッテリー およびモータ制御開発をサポート



- バッテリーHILSは実際のバッテリーでは困難な、セルの充電状態をシミュレーションで再現する製品で、BMS（バッテリー マネージメント システム）の制御ロジック開発・検証に貢献します。
- モータHILSは実際のモータを使わずにモータモデルによるシミュレーションで実モータに近い電流波形を再現することで、モータコントローラの動作検証を可能にする製品です。
- これらの製品はテストの自動化や、今後ニーズが集まる、高いレベルのテスト要求に答える製品です。

トピックス3～大型試験機試作工場の新築

- ・当社は近年の自動車およびタイヤメーカーを中心とするお客様からの大型試験機の受注増加に対応するため、埼玉県鴻巣市に延床面積1,394㎡の試作組立工場を新築しました。
- ・当社が長年培ってきたセンサー技術とDSP技術（高速デジタル信号処理技術）を融合した、大型タイヤベルト試験機・タイヤドラム試験機等、高性能かつユニークな試験機の製作を開始しております。



トピックス4～新製品：業務用自動血圧計TM-2657

AND
株式会社 エーアンド・デイ

- ・ 診之助Slimは、業務用全自動血圧計ではクラス最小サイズを実現した、設置場所を選ばない省スペース型です。
- ・ 本体重量は約5.5Kgと、従来品より3.5Kg軽量化し、出張健診など持ち運びが必要な場面でも手軽に移動することが可能です。
- ・ 医療機関のみならず、薬局、スポーツ施設、公共機関、健診、企業健康管理など、幅広い場所でご使用いただける全自動血圧計です。

診之助 Slim
Shinnosuke



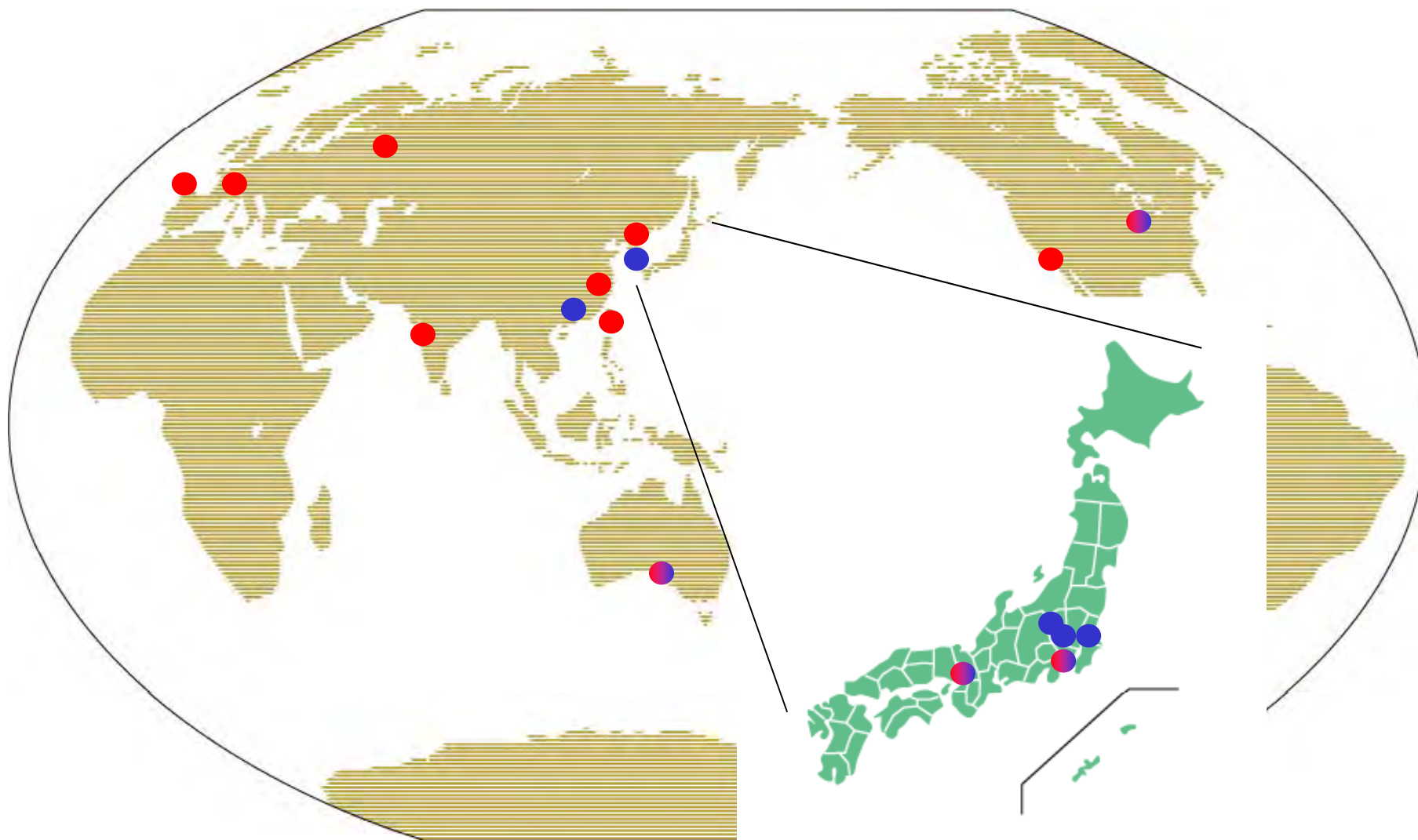
AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**

補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例－1
- 7 DSPシステムの採用事例－2
- 8 電子ビーム関連ユニット
- 9 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



車載型リアルタイム
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.001mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用
ウェイトチェッカー	コンベア搬送中の物品の計量及び制御を行う	製造ラインでの商品の全数検査の自動化や、質量の検査、質量による選別に使用
金属検出機	電磁誘導等を利用して被検査物内の異物（金属）の検出を行う	食品・医薬品等製造・加工工程における異物の検出に使用



分析用天秤



防水電子台秤



ウェィング・インジケータ



デジタル・ロードセル



ウェイトチェッカー

製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定
		血圧監視装置	SpO2(動脈血酸素飽和度)と血圧を同時監視
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メ ディ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリースケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すりにつかまった状態で安全に計測
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル血圧計	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		上腕式 手首式	小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
		体重計	50g単位、肥満・痩せの基準BMIも表示

上腕式家庭向血圧計

バイタルセンサ



超音波吸入器

家庭向体重計

全自動血圧計

ストレッチャー
スケール

DSPシステムとは

DSPシステム

■ DSPシステムの特徴

◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです

つないでテストする



エンジンの試作品



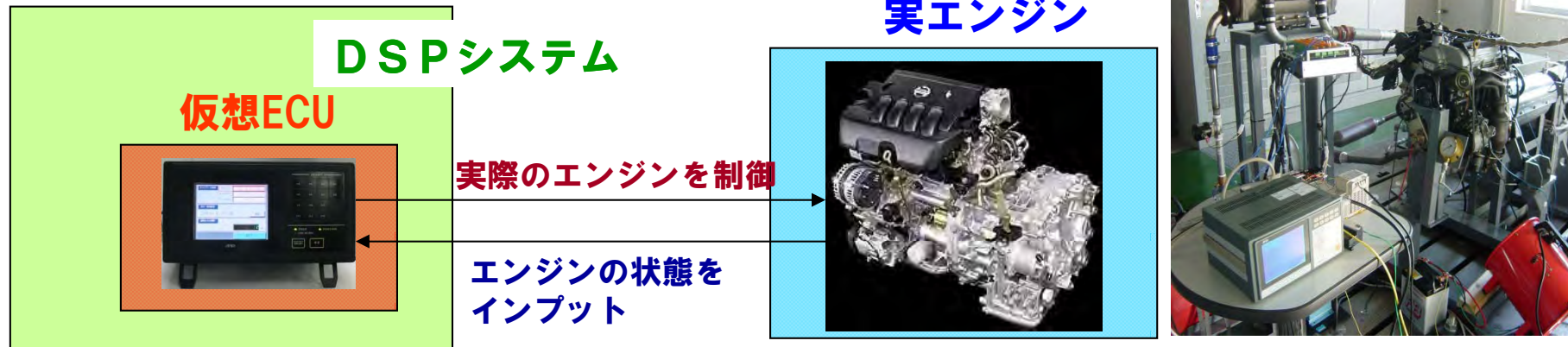
エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

DSPシステムの採用事例－1

RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例-2

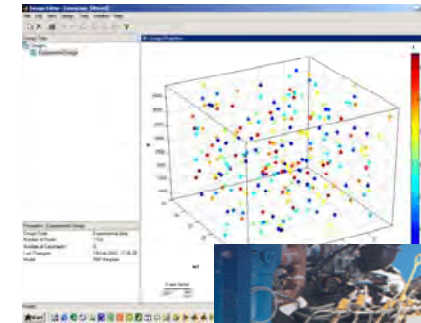
ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

実験計画



評価試験



2. ORIONの特徴

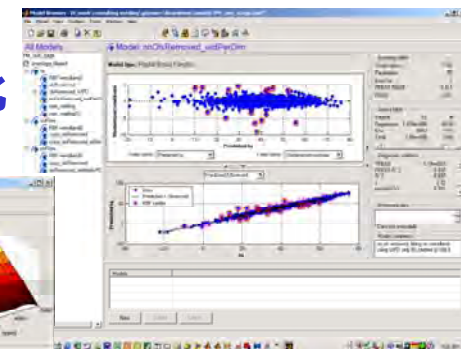
・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

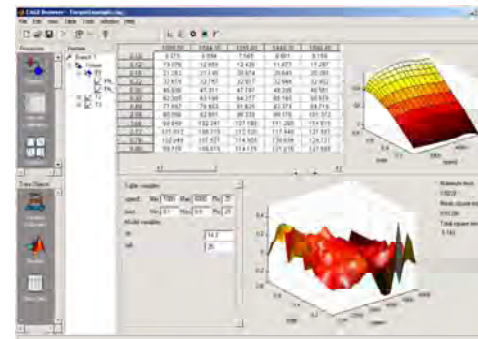
・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

ECUのモデル化



適合



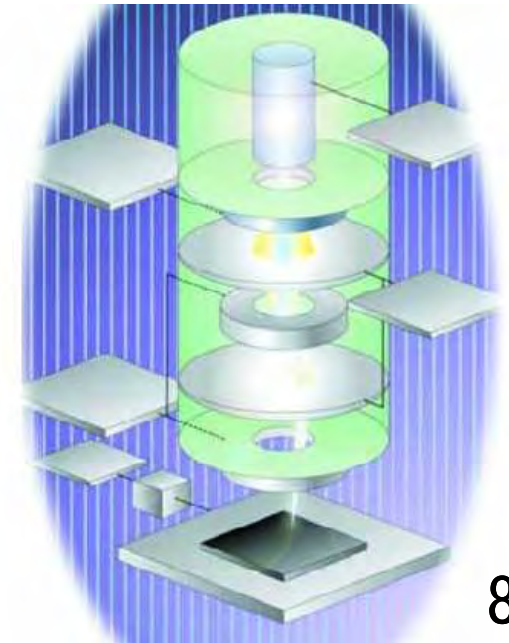
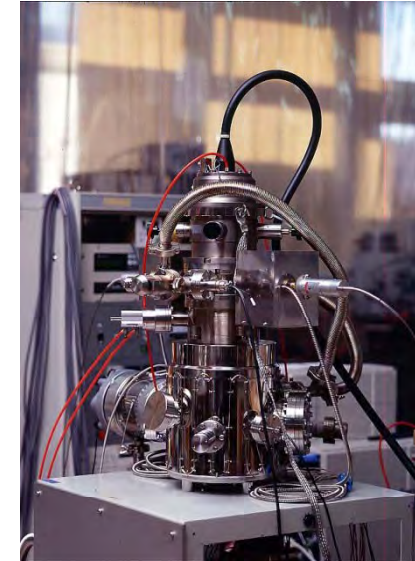
電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



開発の状況

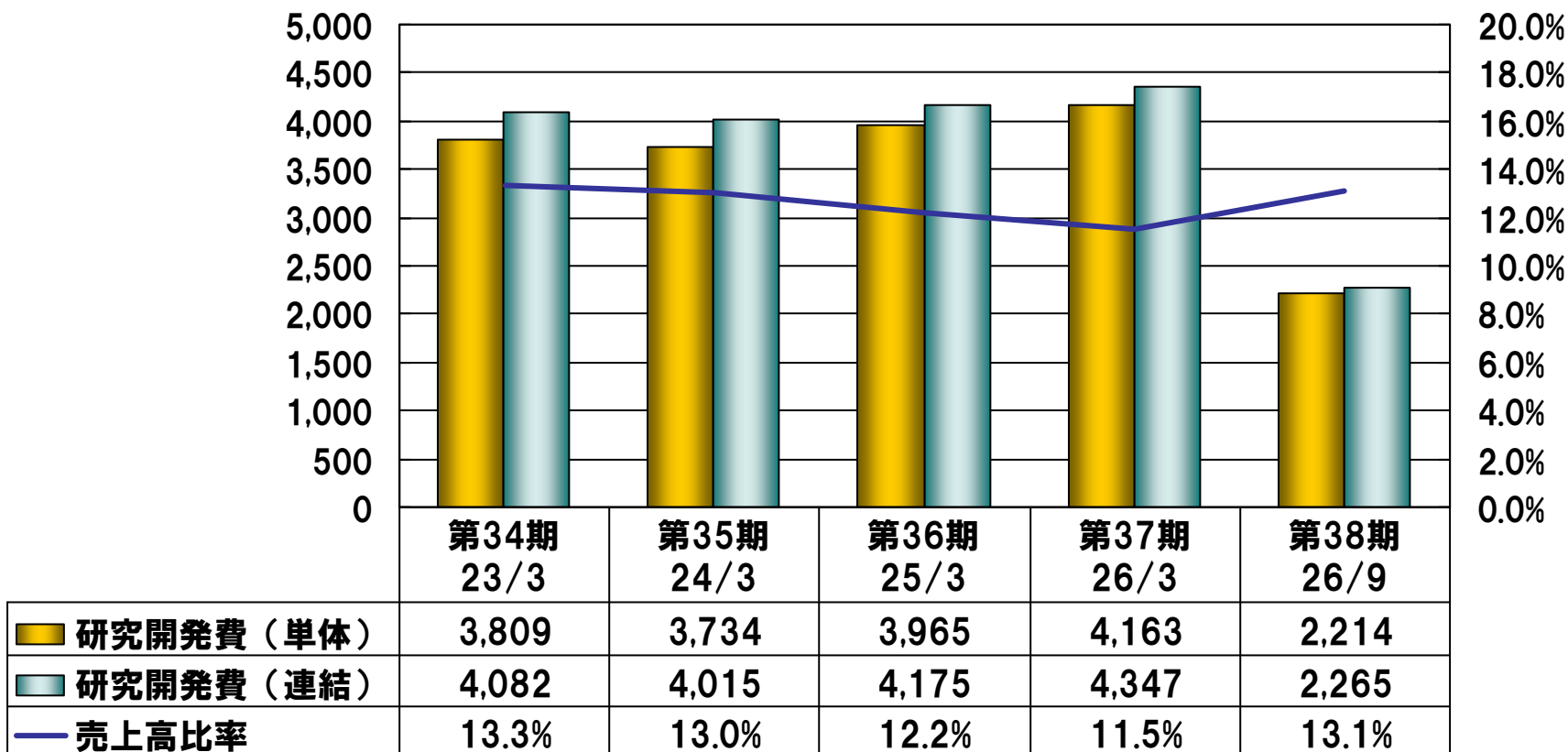


社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成26年9月末/A & D単体)

既存事業 199名 (52.5%) 開発人員比率
 新規事業 180名 (47.5%) (単体) は52.4%
 合計 379名

研究開発費
(単位：百万円)



※売上高比率は連結売上で算出

AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**